

平成30年度事業報告書

平成30年1月1日から平成30年12月31日まで

特定非営利活動法人 Earth as Mother

1 事業の成果

特定非営利活動法人Earth as Motherは、愛知県内外と名古屋市・豊田市を中心として活動。

平成30年度活動の目標は例年継続事業として既存会員への提供サービスのレベル向上の為、会員向けメール配信やホームページを業者によるリニューアル化、会報誌マザーリースたいむず会報誌は年2回の定期的な情報発信を行い、新会員には、名刺と徽章などの配布物とポロシャツとジャケットの販売継続を行った。

会員以外の方への情報発信は、豊田市主催の「WE LOVE とよたフェスタ」に寺子屋、福祉、農事事業部の三部門出展、「とよたまちさとミライ塾」主催の農業体験イベント公募、「耕Life」、「とよた市民活動センター」のHP、「東海農政局食育メールマガジン」、「食育ネットあいち」のメールマガジン等にイベント情報の掲載を行った。また、ボランティア募集掲載サイトの「アクティボ」へ登録し26件の応募があった。

又、食育、食農、環境イベントで農事ボランティアの参加者等を通じ農薬、化学肥料、除草剤を一切使用しない完全オーガニック野菜の健康で安全な食農と健康に係る問題点の改善、解決を図り、豊田市役所管轄の農地バンクを活用、藤岡地区にて新規農地拡充、不耕作地と農業後継者不足問題の中で有機循環自然農法を実践し、安心安全な無農薬・化学肥料不使用の完全オーガニック氣力野菜を作り、一般者に提供する機会を増やし、健康で持続可能な社会基盤コミュニティ構築を形成できるよう活動を推進して、岐阜県・三重県・千葉県・兵庫県・青森県等に普及と向上で理念の賛同者を増やし市民団体、NPO 法人アース・アズ・マザーの普及活動をし、会員増加に努力している。

2 事業の実施に関する事項

各事業の具体的な内容としては、定款の目的を達成するため、次の事業を実施した。以下、定款より抜粋。

- ① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。
- ② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業。
- ③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業。
- ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業。
- ⑤ 社会的包摂推進に係る事業。
- ⑥ 農作業及びその付帯業務の代行及び請負事業。
- ⑦ 農具及び土壌改良資材の製造、販売事業。
- ⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。

(1) 特定非営利活動に係る事業

①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業

(ア) 事業内容 他団体交流

◆WEBシステム利用の活動はメール配信にてイベント・セミナー・ボランティア等の発信。会員以外の方への情報発信は、「とよたまちさとミライ塾」主催の農業体験イベント公募、「耕Life」、「とよた市民活動センター」のHP、「東海農政局食育メールマガジン」、「食育ネットあいち」のメールマガジン等にイベント情報の掲載を行った。

◆「ぐるぐるまちミル博覧会」を日進市の「数学コーチングスクールLaCLo」様と共催。難病を患う家族にスポットを当て、生きる歓びを映し出し、観る者にとって生きるとはなにか、しあわせとは何かを気づかされるドキュメンタリー映画『Given ～いま、ここ、にある しあわせ～』の上映会とワークショップをプログラムとして実施。

◆他団体交流事業は、中京大学スポーツ科学部 草薙講師ゼミアスリート達が、各自の体力を考え直して良い成績を残すためには、身体の中からの健康を考えて無農薬野菜の必要性を理解されて農業ボランティアを学業の間で経験し、食糧野菜提供の依頼を受け、食の安全性を若者たちと話し合える良い機会を得た。今後は、協力し合えるよう相互互助を約束、食育として食材の美味しい食べ方を指導して、感謝と感動の中で今学期は終えた。

※今まで記載していたモリコロパークの粘土細工は、今年度より環境事業の寺子屋ものづくり事業に移動。

(イ) WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 他団体交流

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム 情報交換事業 (他団体交流)	中京大学スポーツ科学部 草薙講師ゼミのアスリート 学生とのコラボ企画 「健康に良い農業体験 ボランティア活動」 社会貢献事業として受入	(A) H30. 11. 21 10:30～12:00 (B) 豊田市藤岡飯 野町当会の圃場 (C) 3人 理事長 山本百百代 農事事業部委員 山田義隆 長谷川幸子	(D) 中京大豊 田キャン パス 学生、教師 (E) 学生 2人	0円

①WEB システム情報交換事業 (他団体交流)	中京大学スポーツ科学部 草薙講師ゼミのアスリート 学生とのコラボ企画 「健康に良い農業体験ボランティア活動」 社会貢献事業として受入	(A) H30. 12. 05 10:30～12:00 (B) 豊田市藤岡飯野町当会の圃場 (C) 2人 理事長 山本百百代 農事事業部委員 長谷川幸子	(D) 中京大豊田キャンパス学生、 (E) 学生 5人	0円
①WEB システム情報交換事業 (他団体交流)	中京大学スポーツ科学部 草薙講師ゼミのアスリート 学生とのコラボ企画 「健康に良い農業体験ボランティア活動」 社会貢献事業として受入	(A) H30. 12. 12 10:30～12:00 (B) 豊田市藤岡飯野町当会の圃場 (C) 2人 理事長 山本百百代 農事事業部委員 長谷川幸子	(D) 中京大豊田キャンパス学生、 (E) 学生 5人	0円
①WEB システム情報交換事業 (他団体交流)	「ライフデザイン入門」と題して、持続可能な共生社会 真農福コミュニティづくりについて講義を実施	(A) H30. 11. 7 二時限目、 三時限目 (B) 日本福祉大学美浜キャンパス (C) 1人 副理事長 村野政章	D) 日本福祉大学学生 (E) 430人	2,084円

(2) 総費用 (無償ボランティア7人)

総合計 2,084円 *日本福祉大学へ資料送付料金

反省点・改善ポイント

中京大学スポーツ科学部の生徒さん等で、授業のない時間帯の1時間半でプログラムをご用意し、参加しやすくし農業を楽しんで頂く環境を用意する。

(ウ) 事業内容 国際交流

◆国際交流の場として、岡崎のりぶらまつりでは、日本の竹を使い昔のおもちゃ作りを伝承体験。当会の理事の1人がおかざきニュースを発行し、国際交流を長年開催されており共催にて実施。中京大学の宮田教授との交流で、香港理工大学留学生の方々を3年

で3回受入れ、味噌汁づくりやご飯の釜戸炊き伝承文化体験したが、30年度は、受入はなかった。

(エ) WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 国際交流

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
① WEB システム 情報交換事業 (国際交流)	第 28 回国彩幸流会 Earth café りぶら祭 2018 プレイベント持寄り お楽しみ会 「スリランカ支援プ ロジェクト!!」 活動PR 主催：おかざきニュー ス 協力事業：当会	(A) H30. 8. 18 18:00～20:00 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ リブラ 3階 301号室 (C) 5人 副理事長 村野政章 他	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E) 参加者数 53人	0円
①WEB システム情 報交換事業 (国際交流)	第 10 回 りぶら祭 2018 おかざき国彩幸流会 Earth café 多文化共生交流 ブース出展 「スリランカ支援 プロジェクト!!」 主催：おかざきニュー ス 協力事業：当会	(A) H30. 11. 10/11 10:00～16:00 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ リブラ 1階 103号会議室 (C) 5人 副理事長 村野政章 他	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E) 参加者数 128人	0円
①WEB システム情 報交換事業 (国際交流)	第 29 回国彩幸流会 Earth Cafe 一品持寄り/感謝の会/ 「スリランカ支援 プロジェクト!!」	(A) H30. 12. 16 18:00～20:00 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ リブ ラ 3階 302号室	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E) 参加者数 65人	0円

	活動PR 主催：おかざきニュース 協力事業：当会	(C) 5人 副理事長 村野政章 スタッフ：4人		
①WEB システム情報交換事業 (その他)	WE LOVE とよたフェスタ でんでん太鼓や 起き上がり小法師 や藁草履や竹のおもちなどを展示。	(A) H30.2.25 10:00～15:30 (B) 豊田市スカイ フォール (C) 2人 理事 服部裕一 坂口朋寛	(D) 豊田市内外の不特定多数の方々。 (E) 5人	3,000円

(2) 総費用 (無償ボランティア17人)

総合計 3,000円 *WE LOVE とよたフェスタ出展料(寄附金)

反省点・改善ポイント

国際色豊かに岡崎のブラジル、中国、インドネシア等多くの国々の方々が、一品持寄りで集まって交流会をして楽しいひと時を過ごされています。当会としては、これからも一緒に続ける事業と位置づけるか課題。

②自然再生と環境の保全活動を支援する事業

(オ) 事業内容 環境セミナー

◆環境セミナーとして、会員向けに、Motherly Earth Project 理念、コミュニティ構築勉強会を開催。Motherly Earth Project の元である Universe State の説明。

何を目指し、実現しようとしているのか。目的、実践・実行に向けて講話を行った。また、ESD,SDGs(持続可能な開発目標)についての勉強会やワークショップを実施。今回、地方支部からも多数ご参加。原点・理念を多くの会員と共に学んだ。

(カ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境セミナー

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)

②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境セミナー)	Motherly Earth Project 理念 コミュニティづくりの勉強会を開催。 Universe Stateの説明。 ESD,SDGs(持続可能な開発目標)についての勉強会やワークショップ	(A) H30.2.4 10:00~16:00 (B) 名古屋市 女性会館 第1研修室 (C) 3人 理事長 山本百百代 スタッフ:2人	(D) 会員 (E) 参加者数 25人 会員 25人	3,100円
----------------------------------	--	--	-------------------------------------	--------

(2) 総費用(無償ボランティア3名)

総合計 3,100円

(内訳)

- ・配布資料印刷費 1,500円
- ・会場借料 1,600円 *午前、午後 区分

反省点・改善ポイント

講義時間が長くなり、ワークショップに充てる時間が少なくなった。参加型となる場づくりとなるよう時間配分・プログラムを見直す。



(キ) 事業内容 環境イベント

◆環境イベントとして、年4回の主たるイベント中2回目をイベントとして開催。このイベント「生き物と共生する田んぼで、いきものみつけ」は、大人も子どもも自然の中で生き物と共生している事を学ぶ。食育としては、当会で栽培した大豆を使用して親子での豆腐づくりや流しそうめんを実施。また、子ども達が丸めて流した素麺を親が、次に親が丸めて流した素麺を子ども達が食べた。野外料理のワークショップ形式、体感親子の絆作りに役立つと感じた。

(ク) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境イベント

(1)開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (環境 イベント)	第1回環境イベント。 生き物と共生する田んぼで、いきものみつけを当会豊田市圃場にて開催。	(A) H30.8.5 10:00～16:00 (B) 豊田市猿投 棒の手会館(裏) 当会圃場 (C) 13人 理事長 山本百百代 スタッフ：12人	(D)豊田市 一般、会員 (E)参加者数 57人 大人 35人 子ども 20人 幼児 2人 ※内会員 17人	38,761円

(2) 総費用 (無償ボランティア13人)

総合計 38,761円

(内訳)

・当期仕入高	20,460円	・通信費	246円
・賃借料	1,000円	・保険料	1,230円
・消耗品費	9,275円	・宣伝広告費	1,550円
・諸会費	5,000円		

反省点・改善ポイント

熱中症が多発する程の暑さ異常気象が続いていた為、安全管理の為野外での生き物調査時間を通常より短めの時間に設定したが、お客様からは少し時間が短かったという声もあった。棒の手会場と猿投寮との連携不足(お客様の到着が予定より遅くなったこと)により、食育ワークショップ(流しそうめん、豆腐づくり等)の段取りの変更が必要となった。



(ケ) 事業内容 寺子屋ものづくり

◆寺子屋のものづくりは、食育イベント1回、食農イベント2回、環境イベント1回に竹のものづくりを行った。また環境イベントでは竹はし、竹の器の製作指導を行った。竹を活用した食器づくりをする事で、災害時でも食器が創れる方法を伝える良い機会となった。

豊田市内の竹林の管理として伐採する竹を再生利用として寺子屋ものづくりに使用、事業番号①の国際交流と事業番号④の食農・食育イベントで子ども達に竹を使用したおもちゃ作りの指導や、竹炭等を作り田畑に撒き土壌再生に協力。

夏の環境イベントは「田圃での生物・野草観察調査」毎回開催時に昼食のそうめん流しの台として竹を切り出して使用。

(コ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	第1回食農イベント でんでん太鼓づくり	(A)H30.5.20 10:00～16:00 (B)豊田市猿投町当 会圃場 (C)2人 理事 服部裕一 役員 伊藤厚	(D)豊田市 一般、会員 (E)参加者数 2人 子ども 2人	0円
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	第1回環境イベント 竹はし、竹の器、 竹鉄砲づくり	(A)H30.8.5 10:00～16:00 (A)豊田市猿投 棒の手 ふれあい広場 ・棒の手会館(裏) 当会圃場 (C)3人 理事	(D)豊田市 一般、会員 (E)参加者数 竹ばし 12人 大人 1人 子ども 11人 竹鉄砲 16人 大人 1人 子ども 15人	0円

		服部裕一 坂口朋寛 役員 伊藤厚	竹の器 44人 大人 20人 子ども 24人	
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋もの づくり)	第2回食農イベント 竹ぽっくりづくり	(A)H30.10.7 10:00~16:00 (B)豊田市猿投町当 会圃場 (C)2人 理事 坂口朋寛 役員 伊藤厚	(D)豊田市 一般、会員 (E)参加者数 2人 子ども 2人	0円
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋もの づくり)	第1回食育イベント 松ぽっくりツリー づくり	(A)H30.12.2 10:00~16:00 (B)豊田市猿投町当 会研修施設 (C)1人 役員 伊藤厚	(D)豊田市 一般、会員 (E)参加者数 7人 大人 1人 子ども 6人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア8人)

総合計 0円

(内訳)

- ・ 5/20 田植えイベント 0円
- ・ 8/5 環境イベント 0円
- ・ 10/7 稲刈りイベント 0円
- ・ 12/2 収穫祭イベント 0円

反省点・改善ポイント

チラシ印刷時にもものづくりの内容が決まっていなかった事もあったので、年間を通じて作製するものを検討していく。親子で体験出来るもの用意し親子体験型のものづくりを検討していく。環境イベントにて、同時時間帯に2つのものづくりを実施した所目が行き届かなかったので講師を増やし、手順の見直しを行う。



(サ) 事業内容 寺子屋ものづくり

◆寺子屋ものづくりのイベントの中で「カレーライスを一から作る」上映会に合わせて、木材より木のスプーン作りに親子で挑戦してもらい道具作りの楽しさを体感。

(シ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	カレーライスを一から作る上映会とスプーンづくり 木のスプーンづくり	(A) H30.6.3 9:40~14:50 (B) イーブル なごや 大会議室 (C) 2人 理事 服部裕一 黒田雅也	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 参加者数 25人 大人 20人 子ども 5人	1,064円

(2) 総費用 (無償ボランティア2人)

総合計 1,064円

(内訳)

・当期仕入高 1,064円

反省点・改善ポイント

竹を使用したスプーンづくりを行おうとしたが、竹が硬い為子どもが出来ないと判断し、木へ変更。子ども向けの体験だったが、大人も夢中になる企画となった。



(ス) 事業内容 寺子屋ものづくり

◆公園や山に落ちている松ぼっくりを拾って来ての小さなツリー作りを体験。

(セ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	りぶらまつり でんでん太鼓や 松ぼっくりツリーや 竹ポックリづくり	(A) H30. 11. 11・12 10:00～16:00 (B)岡崎市図書館 交流プラザ Libra (C)3人 理事 服部裕一 スタッフ：2人	(D) 岡崎市 一般、会員 (E)参加者数 36人 子ども 36人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア6人）

総合計 0円

反省点・改善ポイント

体験者は、もうすぐクリスマスの時期に近づいている事も有り、楽しく熱心にオリジナルの松ぼっくりツリー作りに集中していた。会場内での集客方法、案内の方法を検討していく。



(ソ) 事業内容 寺子屋ものづくり

◆寺子屋ものづくり事業部としては、県のテーマパークにて春秋まつりへ参加。

理事長がモリコロパーク専用にか考案したオリジナル作品で、粘土からハサミ一本で作れる「モリゾー・キッコロ」を3歳児から高齢者まで幅広い年齢層にものづくりを個人指導。モリコロパーク・マネジメント会員としてパークキャラクターを子ども達の想像力や発想力を引き伸ばす為に会を上げてボランティア事業として実践。モリゾー・キッコロ粘土教室は、このモリコロパークでしか開催出来ない為、毎年参加される子どもたちや大人もいて、定番色粘土以外に7色のキッコロ全色揃えたいとの要望もあり、毎年楽しみの恒例イベントとして参加。

(タ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の 額 (単位： 円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	モリコロパーク春祭り ハサミ1本でつくる モリゾー、キッコロ の粘土教室	(A) H30. 3. 24・25 10:00～16:00 (B)モリコロパーク地 球市民交流 センター屋内 会場 (C) 7人 理事 服部裕一 他：6人	(D) 愛知県内外 一般、会員 (C) 参加者数 57人 子ども 57人	2,950円
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	モリコロパーク秋祭り ハサミ1本でつくる モリゾー、キッコロ の粘土教室	(A) H30. 9. 22 10:00～16:00 (B) モリコロパーク 地球市民交流 センター屋内 会場 (C) 6人 理事 服部裕一 スタッフ：5人	(D) 愛知県内外 一般、会員 (D) 参加者 14人 子ども 14人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア13人）

総合計 2,950円

（内訳）

・当期仕入高 2,950円

反省点・改善ポイント

体験者は、普通の粘土と作成工程が違い、出来上がった粘土を使用しないので、色粘土を練り合わせて基本の粘土を作る所で苦勞していた。



(チ) 事業内容 寺子屋ものづくり

◆寺子屋ものづくり今年は、にっしんわいわいフェスティバルやぐるぐるまちミル博覧会の体験プログラムとして、日進市のマスコットキャラクターであるニッシーの粘土教室を開催。違う色の粘土を混ぜ新たな色を作る工程から指導。粘土を混ぜ、色の変化を作る工程を見て創造力や発想力を学ぶ機会となった。

(ツ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	にっしんわいわいフェスティバル 粘土でつくる ニッシー作り	(A)H30.7.7 10:00～17:00 (B)日進市 スポーツセンター 2階 (C)5人 理事長	(D)日進市 一般、会員 (E)22人 大人 5人 子ども 17人	59,835円

		山本百百代 スタッフ：4人		
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋もの づくり)	ぐるぐるまちミル 博覧会 粘土でつくる ニッシー作り	(A) H30. 10. 6 10:00～16:00 (B) Wakka (C) 3人 理事長 山本百百代 スタッフ：2人	(D) 日進市 一般、会員 (E) 3人 大人 2人 子ども 1人	0円
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋もの づくり)	ぐるぐるまちミル 博覧会 粘土でつくる ニッシー作り	(A) H30. 10. 27 10:00～16:00 (B) 日進市北部 福祉会館 (C) 3人 理事 坂口朋寛 スタッフ：2人	(D) 日進市 一般、会員 (E) 3人 大人 0人 子ども 3人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア11人)

総合計 59,835円

(内訳)

・当期仕入高	57,993円	・保険料	600円
・運賃	540円	・支払手数料	702円

反省点・改善ポイント

ポップ等準備不足だった。今後呼び込み易い物を作り動員を増やす。



(テ) 事業内容 寺子屋ものづくり

◆寺子屋ものづくりとしては、WE LOVE とよたフェスタへ参加し竹のものづくり教室や藁草履り、竹のおもちゃなど製作物を展示。ボランティアの募集も実施。

(ト) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	WE LOVE とよた フェスタ でんでん太鼓や 起き上がり小法師や 藁草履や竹のおもち などを展示。	(A) H30. 2. 25 10:00～15:30 (C) スカイホール 豊田 (C) 2人 理事 服部裕一 坂口朋寛	(D) 豊田市内外の不特定多数の方々。 (E) 100名以上	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア2人)

総合計 0円

反省点・改善ポイント

ものづくりでの新たな出展イベントとなった。定番の竹ぼっくりやでんでん太鼓以外の体験物を検討して行く必要性を感じた。



(ナ) 事業内容 寺子屋ものづくり

◆寺子屋ものづくりとしては、10周年記念「マルシェ大感謝祭」にてブース出展をし、竹のものづくりの教室や藁草履り、竹のおもちゃなど製作物を展示。

(二) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生 と環境の 保全活動 を支援す る事業 (寺子屋も のづくり)	10周年記念 「マルシェ大感謝祭」 でんでん太鼓や 起き上がり小法師や 藁草履や竹のおもち などを展示。	(A)H30. 10. 21 9:00～16:00 (B)八事山興正寺 (C)2人 理事 服部裕一 黒田雅也	(D) 愛知県内の ものづくりに 関心のある親子 (E) 10人 大人 0人 子ども 10人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア2人)

総合計 0円

反省点・改善ポイント

出展に関しての告知が遅かった事もあり集客が少なかった。展示物や案内ボードなどお客様が止まって見る内容にしていく必要があると感じた。



③保険、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業

(ヌ) 事業内容 心の学校メンタルヘルス事業

◆心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方、人との調和や会社の方針に疑問を持った方、心身に病のある方等を対象として言葉遣いや考え方を変える事で「プラス思考」に切替え、苦しい思いの人生観が変わる生き方を指導。心の問題がものの考え方を変える事で、解決に向けての必要な取組になる事を事例やマンドラ思考を通して自己改革の仕方を指導。ワークショップ形式セミナーを愛知で年6回開催。岐阜で年1回無料セミナーを開催。悩める会員と一般市民の悩める方々を交えて有料で心

の学校メンタルヘルス講座を開催。一般者がひとりでも申込みがあれば開催。

(ネ) 保険、医療、老人福祉及び健康促進事業 心の学校メンタルヘルス事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
③保健、医療、 老人福祉及 び健康促進 事業を支援 する事業	テーマ『悩めるあなた に、心のトリートメン ト』心のあり方や物の 考え方について悩みを 抱えている方等を対象 として、人生観が変わ る生き方を指導。59回	(A) H30. 4. 29 (B) イーブル なごや (C) 2名 講師 当会理事長 事務局 正会員 1名	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 3名 会員 3名	1, 628 円
③保健、医療、 老人福祉及 び健康促進 事業を支援 する事業	テーマ『悩めるあなた に、心のトリートメン ト』心のあり方や物の 考え方について悩みを 抱えている方等を対象 として、人生観が変わ る生き方を指導。60回	(A) H30. 5. 27 (B) イーブル なごや (C) 2名 講師 当会理事長 事務局 正会員 1名	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 3名 会員 2名 先受会員 1名	2, 009 円
③保健、医療、 老人福祉及 び健康促進 事業を支援 する事業	テーマ『悩めるあなた に、心のトリートメン ト』心のあり方や物の 考え方について悩みを 抱えている方等を対象 として、人生観が変わ る生き方を指導。61回	(A) H30. 6. 24 (B) イーブル なごや (C) 2名 講師 当会理事長 事務局 正会員 1名	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 6名 会員 5名 一般 1名	1, 809 円
③保健、医療、 老人福祉及 び健康促進	テーマ『悩めるあなた に、心のトリートメン ト』心のあり方や物の	(A) H30. 7. 29 (B) とよた市民 活動センター	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 8名	1, 209 円

事業を支援する事業	考え方について悩みを抱えている方等を対象として、人生観が変わる生き方を指導。62回	(C) 2名 講師：当会理事長 事務局正会員 1名	会員 6名 先受会員 2名	
③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント』心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方等を対象として、人生観が変わる生き方を指導。63回	(A) H30. 8. 26 (B) イーブル なごや (C) 2名 講師 当会理事長 事務局 正会員 1名	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 8名 会員 7名 一般 1名	1,609円
③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント』心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方等を対象として、人生観が変わる生き方を指導。64回	(A) H30. 11. 25 (B) イーブル なごや (C) 2名 講師 当会理事長 事務局 正会員 1名	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 10名 会員 9名 当日欠席 1名	3,818円
③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	中止回	(A) H30. 9. 30 (B) イーブル なごや (C) 2名 講師 当会理事長 事務局 正会員 1名	(D) 一般、会員 (E) 0名	809円 (広告宣伝費)
③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント』自己の考え方を知り感謝と反省と謙虚さを知る事で人生観が変わる生き方を指導。岐阜エリアセミナー10回	(A) H30. 06. 23 (B) 岐阜県飛騨市 神岡町公民館 (C) 2名 講師 理事長 1名 副理事長 1名	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 10名 会員 9名 一般 1名	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア12人)

総合計 12,891円

(内訳) 6回開催分

- ・ 貸借料 3,200円 (会場費400円×5回=2000円)
(800円×2回=1600円)
(9/30,10/28 返金▲200円×2回=400円)
- ・ 宣伝広告費 9,691円 (チラシ用紙A4 9冊5,871円)
(チラシ印刷代7回分 3,820円)

反省点・改善ポイント

- ・ 農繁期で参加者名が2名と少数でした。一般の方、新規の方への広報の仕方を検討する必要がある
- ・ 賛助会員の方が初めて参加となり熱心に聴講され悩みが解決したと明るい笑顔で帰られた。
- ・ 6月は、6名の参加者があった。その中の1名への教授に時間がかかり、他の受講者への時間が取れず、次回以降にフォローとなった。
- ・ 本年度、豊田で第1回目の開催。当日が花火大会と重なり参加者の会場迄の往復が大変であった。来年以降は豊田での開催日を考慮する。
- ・ 東京の会員2名ご参加頂き、各支部、エリア会員にも参加して頂けます様工夫していく。
- ・ 9月10月は中止。11月は、会場も名古屋へ移して開催。東京の会員4名の御参加を頂けた。



(ノ) 事業内容 その他として企業者へのメンタルヘルス・コンサル事業

◆その他として企業者へのメンタルヘルス・コンサルを毎月1回指導。障がい者事業や会社経営者の方々に対してのコンサル。利用者・スタッフの方々の雇用など施設拡張等で色々な悩みが拡大。事業者を対象に改善策を毎月コンサル相談し有料で実地指導。

(ハ) 保険、医療、老人福祉及び健康促進事業

その他として企業者へのメンタルヘルス・コンサル事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	利用者・スタッフの方々と施設拡大での雇用等の問題。事業者を対象に毎月コンサル相談をして指導料を頂き改善策を指導	(A) H30. 4. 29 (B) 事務所 (C) 2名 理事長 山本百百代 副理事長 村野政章	(D) 会員対象 (E) 参加者数 1名 会員1名	0円

(2) 総費用

総合計 0円

④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業

その他経費合計 1, 549, 983円

(内訳)

・通信費	140円	・減価償却費	1,039,946円
・地代家賃	3,000円	・保険料	128,030円
・修繕費	120,261円	・燃料費	3,000円
・消耗品費	230,174円	・租税公課	11,500円
・広告宣伝費	12,960円	・支払手数料	972円

(ヒ) 事業内容 農事業、食育・食農イベント

◆食育・食農の農業関連事項については、心の学校の課外授業として位置付けで、食農イベント2回は田植え・稲刈りを開催とその他に、とよたまちさとミライ塾

体験プログラムにて、稲刈りとこだわりの米と味噌を使った五平餅づくり。食育イベント1回は食農感謝祭の餅つきを実施。

農業を通じて豊田市猿投町と藤岡飯野町の圃場で、障がいを伴う方々（自閉症などの知的障害・発達障害等）・うつ病・生活困窮者・生活保護者の方々を対象に自立支援を実施。

共働共生を目指し、完全オーガニック（農薬・化学肥料、除草剤不使用）で安心安全な農業指導を実践中。健康に係る問題改善や解決を図る為に、耕作地を豊田市農地バンクを活用し不耕作地と農業後継者問題の中で有機循環自然農法の普及を会員や一般者・ボランティアに向けての農業指導を実践。無農薬で安心安全、美味しいと子ども達も喜んで食べられる作物を提供するイベントで、食農と食育の大切さを伝える機会を増やし健康で持続可能な社会基盤を形成出来る様に活動を推進。普及と向上と同時に環境保全で生き物や自然との共生の大切さ、いのちを育む大切さを活動を通して伝える。そして半農半就をしながら福祉と農業を活かした自給自足のコミュニティ構築を目指して実践中。

日頃CSR活動で、企業ボランティアの安城市、東和精機株式会社様に農業支援・応援・ご協力を頂く農業ボランティア参加者の方々に日頃の感謝を込めて、収穫感謝祭にご招待の声掛けをし、一般者と一緒に楽しんで頂く企画をした。今回残念ながら東和精機株式会社様は都合が合わず不参加となった。食育委員の料理スキルをワークショップ形式で無農薬野菜の素材を生かした料理を参加者・親子にも調理指導。

野菜嫌いの子ども達が喜んで食べる姿を親が見て感動された。それを見て私達も「苦労して野菜を作った結果、野菜嫌いの子ども達が喜んで食べる」のを見てスタッフ全員が喜べた。

会員やご家族に限らず、参加者の子どもたちにも農業を伝承して、美味しい無農薬野菜の味を知る事で、元気に健康になって頂き未来・将来に役立てればと、イベント開催に意義が見い出せた。もし、食糧危機が来た時に農業経験が有れば、災害時に生き残れ、自然と共生をして行く事の大切さを体験していれば、農業は次世代の担い手に受け継がれると私達は信じ、青少年育成と社会人・留学生等の受入も実施している。

(フ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業

食育・食農イベント

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	第1回食農イベント 峰のむらさきの田植え、苗取り。食育体験釜戸炊き体験とおかかふりかけ、味噌汁、天ぷらづくり体験	(A)H30.5.20 10:00～16:00 (B)豊田市猿投町 当会圃場 (C)12人 理事長 山本百百代 他：11人	(D)愛知県 一般、会員 (E)参加者数 31人 大人 24人 子ども 7人 内会員 17人	15,643円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	第2回食農イベント 田植え峰のむらさきの稲刈り、はざがけ竹筒炊飯とおかかふりかけ、味噌汁、天ぷらづくり体験	(A)H30.10.7 10:00～16:00 (B)豊田市猿投町 当会圃場 (C)10人 理事長 山本百百代 スタッフ：9人	(D)愛知県 一般、会員 (E)参加者数 28人 大人 24人 子ども 4人 内会員 16人	9,269円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	とよたまちさとミライ塾 稲刈りとこだわりのお米とお味噌を使った五平餅づくり 峰のむらさきの稲刈りとはざがけ。五平餅作り	(A)H30.11.3 9:00～16:00 (B)豊田市猿投町 別所圃場、六反田 当会役員圃場 (C)7人 理事 黒田晁未 黒田雅也 他：5人	(D)愛知県 一般、会員 (E)参加者 30人 大人 12人 子ども 18人 スタッフ 7人	8,952円
④資源循環型・環境保全型経済	第1回食育イベント 食農感謝祭 杵と臼を使用した昔な	(A)H30.12.2 10:00～16:00 (B)豊田市猿投町	(D)愛知県 一般、会員 (E)参加者数	17,068円

を推進するコミュニティの構築事業(食育イベント)	がらのもちつき、味噌汁、ふろふき大根、里芋の煮物、焼き里芋づくり体験。和太鼓演奏と和太鼓体験。	当会研修施設 (C) 12人 理事長 山本百百代 スタッフ：11人	51人 大人 33人 子ども 8人 招待客 10人 内会員 25人	
--------------------------	---	---	---	--

(2) 総費用 (無償ボランティア36人)

総合計 50,932円

(内訳)

○食農イベント 24,912円 (15,643円+9,269円)

- ・講師料 (延べ2名)無償ボランティア
- ・会場費 (当会にて年間通して借りている圃場なので無料)
- ・自給自足の野菜使用分は支出特記載無し
- ・当期仕入高 5,315円
- ・保険料 1,800円
- ・広告宣伝費 9,773円
- ・諸会費 2,500円
- ・5月13日雨天延期の為返金手数料 216円
- ・賃借料 4,200円
- ・消耗品費 838円
- ・支払手数料 270円

○とよたまちさとミライ塾イベント 8,952円

- ・講師料 (延べ2名)無償ボランティア
- ・会場費 (当会にて年間通して借りている圃場なので無料)
- ・自給自足の野菜使用分は支出特記載無し
- ・当期仕入高 1,478円
- ・賃借料 300円
- ・諸会費 5,000円
- ・保険料 900円
- ・消耗品費 1,274円

○食育イベント 17,068円

- ・講師料 (2名)無償ボランティア
- ・会場費 (当会の猿投寮内なので無料)
- ・自給自足の野菜使用分は支出特記載無し
- ・当期仕入高 9,828円
- ・賃借料 1,200円
- ・広告宣伝費 3,520円
- ・通信費 720円
- ・保険料 1,800円

反省点・改善ポイント

とよたまちさとミライ塾の体験プログラムとして実施したので公募から2週間で満席となった。他イベントに関しては役員一人一人の声かけ、集客が必要。待ち時間など暇になる事があったので他に体験出来るものを用意する必要あり。



(へ) 事業内容 マルシェ販売

費用合計 4,232,343円 (1,465,550円+2,766,793円)

(内訳)

○人件費用 1,465,550円

(内訳)

- ・正会員従事者(延べ22名)無償ボランティア
- ・給料手当 1,456,500円
(230,000円 x 3ヶ月分+退職清算60,000円 x 1人)
(706,500円 12ヶ月分 x 1人)
- ・法定福利費 9,050円 *マルシェ従業員分

○その他経費用 2,766,793円

(内訳)

- | | | | |
|--------|-----------|--------|----------|
| ・期首棚卸高 | 78,793円 | ・当期仕入高 | 971,268円 |
| ・期末棚卸高 | ▲143,141円 | ・通信費 | 3,954円 |
| ・減価償却費 | 453,513円 | ・賃貸料 | 66,810円 |

・地代家賃	24,000円	・保険	118,070円
・修繕費	272,441円	・水道光熱費	54,931円
・燃料費	193,723円	・消耗品費	438,040円
・租税公課	24,700円	・運賃	176,120円
・事務用品費	4,974円	・広告宣伝費	207円
・支払手数料	25,390円	・諸会費	3,000円

(ホ) 事業内容 農事体験

◆農事体験として、今年度は、市民団体 Earth as Mother 兵庫の大井副理事長へ研修として、農事体験を実施。

(マ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 農事体験

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・ 環境保全型経済を推進する コミュニティ の構築事業 (農事体験)	市民団体 Earth as Mother 兵庫 大井副理事長 農事体験研修	(A)H30.1.7 10:00～16:00 (B) 豊田市猿投町 藤岡、当会圃場 (C) 1人 副理事長 村野政章	(D) 当会エリア 関係者 (E) 参加者数 1人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア2人)

総合計 0円

反省点・改善ポイント

本部の圃場や農事について僅かな時間であったが、有機循環型自然農法について伝える事が出来た。

(ミ) 事業内容 農事体験

◆KTCおおぞら高等学院・名古屋キャンパスの学生を招き、手作業にて田植え、田んぼの草刈り、大豆刈込、大豆叩き、足踏み脱穀、昔ながらの農業体験学習を実施。社会貢献事業として、無料で受入れ。

(ム) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 農事体験

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・ 環境保全型経済を推進する コミュニティの構築事業 (農事体験)	K T C おおぞら 高等学院名古屋 キャンパス農業体験 学習としてジャガイ モの収穫と焼き芋づ くりを実施。 社会貢献事業 として受入	(A) H30. 2. 12 10:00～14:30 (B) 豊田市藤岡 地区当会圃場 (C) 4人 理事長 山本百百代 理事 黒田雅也 役員 山田義隆 スタッフ 1人	(D) K T C おお ぞら高等学 院名古屋 キャンパス 学生、教師 (E) 参加者数 5人 教師 1人 学生 4人	0円
④資源循環型・ 環境保全型経済を推進する コミュニティの構築事業 (農事体験)	K T C おおぞら 高等学院名古屋 キャンパス農業体験 学習を行った。 (田植え) 社会貢献事業 として受入	(A) H30. 5. 17 10:00～14:30 (B) 豊田市猿投町 当会圃場 (C) 4人 理事 黒田雅也 役員 山田義隆 スタッフ 2人	(D) K T C おお ぞら高等 学院名古屋 キャンパス 学生、教師 (E) 参加者数 4人 教師 1人 学生 3人	600円
④資源循環型・ 環境保全型経済を推進する コミュニティの構築事業 (農事体験)	K T C おおぞら 高等学院名古屋 キャンパス農業体験 学習を行った。 (稲刈り)	(A) H30. 10. 11 10:00～14:30 (B) 豊田市猿投町 当会圃場 (C) 4人 理事長 山本百百代	(D) K T C おお ぞら高等 学院名古屋 キャンパス 学生、教師 (E) 参加者数 2人	600円

	社会貢献事業 として受入	理事 黒田雅也 農事事業部委員 山田義隆 スタッフ 1人	教師 1人 学生 1人	
④資源循環型・ 環境保全型経 済を推進する コミュニティ の構築事業 (農事体験)	K T C おおぞら 高等学院名古屋 キャンパス農業体験 学習を行った。 (脱穀、藁取り体験) 社会貢献事業 として受入	(A) H30. 11. 22 10:00～14:30 (B) 豊田市猿投町 当会圃場 (C) 5人 理事長 山本百百代 理事 黒田雅也 事業部委員 山田義隆 スタッフ 2人	(D) K T C おお ぞら高等 学院名古屋 キャンパス 学生、教師 (E) 参加者数 2人 教師 1人 学生 1人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 17人)

総合計 1200円

(内訳)

・会場借料 600円 X 2回 = 1,200円

反省点・改善ポイント

年々参加される生徒の人数が減少傾向にある。学校への早めの案内を行う。また、体験学習以外でも農事ボランティアへ参加出来る様な仕組みを作る。



(メ) 事業内容 食育関係

◆食育委員を中心とするスタッフによる総会後の懇親会料理づくり。豊田市の路地栽培野菜や米を使用、調味料にも拘って作る食育料理が楽しみで参加する会員が多く、安心安全な生野菜を格安で食べ、調理の仕方も聞いて満足感に浸り閉会。

(モ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	第10回通常総会茶話会にて料理の提供を行った。	(A) H30.3.11 13:00～17:00 (B) ウィルあいち セミナールーム2 (C) 6名 理事長 山本百百代 理事 黒田留美 スタッフ 4人	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 30人 内会員 30人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア6人)

総合計 0円

反省点・改善ポイント

同会場内にキッチンスタジオがあったので、温かい状態で料理を参加者へ提供する事が出来、また会が目指す食育についての説明をする事が出来た。



(ヤ) 事業内容 食育関係

◆食育関係としては、ラグビー日本代表戦開催に伴い、豊田市にて駅前スペースで「WE LOVE とよたおもてなしイベント」があり、ブース出展をした。出展の内容は野菜やお米やポテトフライ(カラぼて)などの販売を行った。当日は雨で客足もまばらだったが、お客様より美味しいとの評価を得た。

(ユ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	WE LOVE とよた おもてなしイベントへのブース出展にて 野菜やお米、フライドポテトの販売、 活動紹介を実施	(A) H30.6.23 10:00～14:30 (B) 豊田市参号館 (C) 4人 理事 黒田留美 スタッフ 3人	(D) 豊田市内外のラグビー観戦者など (E) 22人	2,224円

(2) 総費用 (無償ボランティア5人)

総合計 2,224円

(内訳)

・当期仕入高 2,224円

反省点・改善ポイント

オリジナルのフライドポテトを販売。栽培した作物の有効活用方法を検討し、販売していく。



(ヨ) 事業内容 食育関係 手前味噌等販売など

◆ 4年前に手前味噌作りで作った手前味噌を次の味噌を仕込む前に桶を空ける必要があり、会員に向けて販売した。

(ラ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業
食育関係 手前味噌等販売など

費用合計 221,837円

(内訳)

- ・当期仕入高 169,334円 (中定商店、味噌玉麴加工など)
- ・通信運搬費 360円
- ・消耗品費 50,415円 (鍋、サラダドライヤー、角パットなど)
- ・運賃 1,296円
- ・支払手数料 432円

反省点・改善ポイント

鍋や包丁など食育ワークショップで使用する調理器具を追加購入。調理器具を多く用意する事で、沢山の親子での調理体験を可能とする環境を整えた。

(リ) 事業内容 その他

- ◆農薬・化学肥料・除草剤不使用の「よっしー畑で野菜をつくって食べよう！」イベントを当会役員との共催事業として開催。

(ル) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 その他

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (その他)	よっしー畑で野菜をつくって食べよう！ じゃがいも植え付け、 玉ねぎ種まき、ニンジン	(A) H30.8.19 9:00～12:00 (B) 豊田市猿投町 六反田当会 役員圍場 (C) 3人 理事 服部裕一 黒田雅也 役員 山田義隆	(D) 豊田市内外の一般・会員 (E)23人 大人 15人 子ども 8人 内会員 12人	900円

(2) 総費用 (無償ボランティア3人)

総合計 900円

(内訳)

- ・講師料 (1名)無償ボランティア
- ・会場費 (当会や役員圃場なので無料)
- ・賃借料 300円
- ・保険料 600円

反省点・改善ポイント

チラシの配布が遅く集客が非常に厳しい状態となった。早めの告知と集客を行う必要あり。気温が高く、熱中症が心配されたがターフの設置や水分を用意する事で対策がとれた。



(レ) 事業内容 その他

- ◆とよたまちさとミライ塾の体験プログラムとして「野菜&カレーライス作りで食育・食農体験」も同役員と共催事業として開催。

(ロ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 その他

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業	野菜&カレーライス作りで食育・食農体験 ベジタブルカレーの 屋外調理体験。 人参の間引きや玉ねぎの植え付け。	(A) H30.11.3 9:00~16:00 (B) 豊田市猿投町 別所圃場、六反田 当会役員圃場 (C) 9人 理事長 山本百百代	(D)食育・食農に関心がある豊田 市内外の親子 (E) 32人 大人 20人 小学生以下 8人 未就学児 4人 内会員 9人	3,705円

		理事、 黒田留美 黒田雅也 役員 山田義隆 スタッフ 5人		
--	--	--	--	--

(2) 総費用 (無償ボランティア9人)

総合計 3,705円

(内訳)

- ・講師料 (2名)無償ボランティア
- ・会場費 (当会や役員圃場なので無料)
- ・自給自足の野菜使用分は支出特記載無し
- ・当期仕入高 1,968円
- ・保険料 660円
- ・賃借料 600円
- ・消耗品 477円

反省点・改善ポイント

とよたまちさとミライ塾の体験プログラムとして実施したので公募から2週間で満席となった。待ち時間など暇にならない様に配慮が必要。

六反田の圃場にはトイレが近くにないので、トイレの案内をこまめにする必要があった。



⑤社会的包摂推進に係る事業

(ワ) 事業内容 生活困窮者・生活保護者の自立就労支援事業

◆平成28年3月31日 豊田市認定第2号 生活困窮者自立支援就労訓練事業所認定。生活困窮者自立支援制度は、平成27年4月15日「現在は生活保護を受給していないが、生活保護に至るおそれがある人で、自立が見込まれる人」を対象に、困り事に関わる相談に応じ、安定した生活に向けて仕事や住まい、子どもの学習など様々な面で支援。生活保護から脱却した人でも、再び最低限の生活を維持できなくなることはないよう、支援の対象となる。その為に、都道府県や市町村に「相談窓口・就労(準備)・家計・学習支援等」が設けられている。

【 暮らしに困る理由や状況は様々。支援の対象事例 】

- ・ 離職後、求職の努力を重ねたが再就職出来ず、自信を失って引きこもってしまった人
- ・ 高齢で体の弱った親と二人暮らしを続ける内に、地域から孤立してしまった人
- ・ 家族の介護の為、時間に余裕はあるが収入の低い仕事に移った人
- ・ 配偶者からの暴力を逃れて家を飛び出したが、子どもが幼い為に就業が難しい人
- ・ いじめなどの為に学校を中退し引きこもりを続ける内に、社会に出るのが怖くなってしまった人
- ・ 家計の管理が上手く出来ない為に、借金の連鎖を止められない人、等々。

2016年4月～ 会場は会の農事部の圃場・作業所で農業（心の学校メンタルヘルスの課外授業としての実践圃場）を通して、その方々に強制する事なく一緒に作業指導をしながら社会復帰を目指して相手の立場に立って無理なくやる気・元気を取り戻し自主性・自立支援を行う。豊田市福祉課より生活保護者の支援も依頼されて、同じ様に取り組んでいる。専任相談員として村野政章副理事長を任命し、全額会負担有給理事として雇用。相談員として対応従事。

*全国エリアに理念賛同団体設立。本格的に始動。

会の支援にて岐阜県飛騨市神岡町に実施事例として、

2017年1月 岐阜県認定 生活困窮者自立支援就労訓練事業所設立 指導

2018年9月 千葉県野田市に提案中。

現在は、豊田市市役所からは、当初の立上げ委託と違い無料委託で、福祉課と社会福祉協議会から相談者が送られて来られるので、現在は会の赤字負担。2年無償奉仕で対応。社会復帰者を生み出している。

(7) 社会的包摂推進に係る事業 生活困窮者・生活保護者の自立就労支援事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑤社会的包摂推進に係る事業	豊田市より認定を頂いている「生活困窮者自立支援就労事業認定」事業運営し、生活困窮者・生	(A) H30. 1. 1 から H30. 12. 31 (B) 当会、豊田市 藤岡・猿投地区	(D) 豊田市・社会福祉協議会より依頼のあ	3, 030, 341 円

	活保護者の自立支援活動を農業を通して支援活動する為、専任者有給雇用を行った。	の圃場及び研修施設・作業所 (C)専任者 1名 随時 農事事業部 スタッフ 数名	る生活困窮者・生活保護者 (E) 4人	
--	--	---	------------------------	--

(2) 総費用

総合計 3,030,341円

(内訳)

- ・正会員従事者 無償ボランティア(延べ56名)
- ・給料手当1人 3,000,000円(12か月x250,000円)
- ・法定福利費 21,269円
- ・支払手数料 9,072円

反省点・改善ポイント

担当者の費用効果に繋がられる、事業を作り、会に活動収入を上げる事が必要。

⑧前各号の事業を遂行する為に必要な事業

(ン) 事業内容 フォーラム等

◆日本ホリスティック医学協会中部支部様と共催にて合同シンポジウム2018『生き方革命～母なる地球』を開催。平成29年度農林水産省助成事業シンポジウムにて講演をされた渡辺監督作品の『おだやかな革命』上映会、高橋ファミリークリニック院長高橋信雄氏、当会副理事長村野他著名な講師による講演を実施。パネルディスカッションでは理事長、副理事長がパネラーとして登壇した。当会のお米や野菜の試食を約200名の方に提供した。

(ガ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 フォーラム等

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位:円)
⑧前各号の事業を遂行するために必要な事業 (フォーラム)	合同シンポジウム2018 『生き方革命～母なる地球』 おだやかな革命上映会 講演会、パネルディスカッション、 野菜とお米の試食。	(A)H30.9.24 12:30～16:30 (B)iビル7階 シビックホール (C)11人 理事長	(D)ホリスティック関係者、 当会会員等 (E) 申込者数 67人 参加者数 67人	111,624円

		山本百百代 副理事長 村野政章 スタッフ 9人	大人 65人 子ども 2人 内会員 11人	
⑧前各号の事業を遂行するために必要な事業(フォーラム)	前年度 9月10日 シンポジウム支払い	(A) H30.9.24 12:30~16:30 (B) 豊田市 福祉センター (C) 10人 理事長 山本百百代 副理事長 村野政章 スタッフ 8人	(E) 一般市民、関係者、当会会員等 (E) 参加者数 49人 内会員 24人 招待客 3人 子ども 4人	22,680円

(2) 総費用(無償ボランティア11人)

総合計 134,304円

(内訳)

○合同シンポジウム2018『生き方革命～母なる地球』 111,624円

(内訳)

・当期仕入高	105,658円	・通信費	124円
・消耗品費	4,108円	・運賃	594円
・広告宣伝費	1,140円		

○昨年9月10日シンポジウム支払い分 22,680円

(内訳)

・事務用品費 2,400円 ・雑給:20,280円

反省点・改善ポイント

会場が一宮市という事もあり、中々集客に繋がらなかったが各支部、エリアより参加され定員を満たす事が出来た。チラシ配布先も今迄と違う為 SNS を活用した広報も充実させる必要がある。試食については、各支部・エリアの方の協力もあり、多くの方に提供出来た。



(ギ) 事業内容 市民農園

◆豊田市協働事業として始めたが、2016年度に助成金対象期間が終了。7期を迎えた2016年度から当法人単独での事業運営となり市民農園指導教室を年2回開講。今年度の講師は自主管理の方々の発表の場所として市民農園マザリーアースを青空会場にして一般市民も対象に有料で農業の普及活動として開催。市民農園菜園から個人で農地を借りられる方が増えた。市民農園も1人の方が2区画、3区画と利用が増え農業を楽しまれる方が定着しました。

(グ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 市民農園

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧前各号の事業を遂行するために必要な事業 (市民農園)	土づくり青空交流会	(A) H30.7.15 10:00～12:30 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 2人 講師 尾家登 スタッフ1人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 参加者数 5人 大人 5人 内会員 2人	4,307円
⑧前各号の事業を遂行するために必要な事業 (市民農園)	野菜づくり青空交流会	(A) H30.11.4 10:00～12:30 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 2人 講師 尾家登 スタッフ1人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 参加者数 8人 大人 8人 内会員 5人	1,860円

(2) 総費用 (無償ボランティア4人)

総合計 40,360円 (4,307円+1,860円+34,193円)

(内訳)

◆市民農園 6,617円

○土づくり青空交流会 4,307円

・消耗品費 2,937円

・通信費 930円

・事務用品費 440円

○野菜づくり青空交流会 1, 860円

・通信費 1, 860円

◆その他費用 34, 193円

・諸謝金講師料 0円 (2名無料)

・当期仕入高 24, 269円

・消耗品費 6, 530円

・通信費 1, 774円

・事務用品費 1, 620円

反省点・改善ポイント

日頃、ボランティアの方にも農作業の内容の認識が必要であり、今後少しずつでも機会を設けるべきと感じた。来年も土づくり、野菜づくり講座と交流会をこのような形で実施してもらいたいとの意見もあった。



(ゲ) 事業内容 協働事業

◆この事業は農林水産省、平成29年度地域の魅力再発見食育推進事業の助成を受けての講座開催事業。食育で昨年9月2日から3回・開催。2回目は、愛知の郷土料理 ②『大根づくし』自家栽培大根を使用(農薬化学肥料除草剤不使用。固定種:宮重大根、方領大根(愛知の伝統野菜をまるごと活かした郷土料理講座。料理指導は、井口美奈子女史。3回目は、“愛知の郷土料理 ③『大豆で みそづくり』、自家採種大豆(ふくゆたか)を使用(農薬化学肥料除草剤不使用)。自家製大豆を知多の味噌屋に預け、豆麴を作って頂き、それを使って愛知県ならでの赤みそ(まめ味噌)づくりを実施。塩もこだわりの「大地の塩」を使用した。料理指導は、昔の古きよき時代の伝統食・料理を知る長谷川幸子女史と助手に疇地里美女史、尾家三葉女史。

(ゴ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 (協働事業)	(農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業) 農薬化学肥料除草剤不使用の自家製大根を使った愛知の郷土料理 ②『大根づくし』と題した料理講座を行った。	(A) H30. 1. 20 10:00～14:00 (B) 名古屋市中生涯学習センター 調理室 (C) 6人 <講師：3人> 井口美奈子 女史 佐藤知子 女史 笠松郁美 女史 <スタッフ：3人> 理事長 山本百百代 スタッフ 2人	(D) 愛知県 一般・会員 (E) 申込者数 18人 参加者数 14人 大人 12人 子ども 2人 内会員 7人	58,020 円
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業 (協働事業)	(農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業) 農薬化学肥料除草剤不使用の自家製大豆を使った愛知の郷土料理 ③『大豆で みそづくり』と題した料理講座を行った。	(A) H30. 2. 10 10:00～14:00 (B) 名古屋市中生涯学習センター 調理室 (C) 6人 <講師：3人> 長谷川幸子 女史 疇地里美 女史 尾家三葉 女史 <スタッフ：3人> 理事長 山本百百代 スタッフ 2人	(D) 愛知県 一般・会員 (E) 申込者数 23人 参加者数 21人 大人 17人 子ども 4人 内会員 10人	62,139 円

(2) 総費用（無償ボランティア6人）

総合計 120,159円

（内訳）

○大根づくし 58,020円

・当期仕入高	3,000円	・雑給	31,000円
・旅費交通費	3,000円	・通信費	3,280円
・賃借料	4,800円	・保険料	780円
・事務用品費	5,600円	・広告宣伝費	6,560円

○大豆で味噌づくり 62,139円

・当期仕入高	12,216円	・雑給	31,000円
・旅費交通費	3,000円	・賃借料	4,800円
・保険料	900円	・事務用品費	2,760円
・広告宣伝費	7,463円		

反省点・改善ポイント

大規模イベントでのチラシ配布、集客も実施させて頂いたが、定員を満たす事が出来なかった。想定している参加者をより明確にし、チラシなどの広報の対象を絞りこむ事も検討実施していく。



(ザ) 事業内容 協働事業

◆この事業は農林水産省、平成29年度地域の魅力再発見食育推進事業の助成を受けて1月21日に開催。映画『在来作物で味覚のレッスン』と『よみがえりのレシピ』2本立ての上映会。当会の未来に繋ぐ食生活と伝承農業の活動そのものが共感。映画監督の渡辺智史氏の講演会と「食育の根本を提言する」をテーマに山本理事長と対談。参加者からの質疑応答も行い、時間一杯まで反響。内容は、農業の在り方や昔ながらの理にかなう野焼き農法と自然の摂理で地域再生に取り組む山形大学の江頭准教授と野菜を活かして独特な料理にする奥田シェフの心が伝わり、在来作物を

現代に伝える農家の方々の生き方を知る感動映画。

(ジ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業(協働事業)	(農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業)「未来へつなぐ食生活と農業に関するシンポジウム」と題した映画上映会、講演、対談、試食を行った。	(A) H30.1.21 10:00～15:20 (B) イーブルなごやホール (C) 12人 講師 渡辺智史監督 理事長 山本百百代 副理事長 村野政章 スタッフ 9人	(D) 愛知県民 一般・会員 (E) 申込者数 49人 参加者数 49人 大人 48人 子ども 1人 内会員 21人	278,204円

(2) 総費用(無償ボランティア6人)

総合計 278,204円

(内訳)

・当期仕入高	5,866円	・雑給	100,700円
・旅費交通費	49,280円	・通信費	1,480円
・会議費	3,780円	・賃借料	62,200円
・消耗品費	6,596円	・事務用品費	2,400円
・広告宣伝費	45,200円	・支払い手数料	702円

反省点・改善ポイント

チラシ作成が遅く、広報期間が短かった為定員を満たす事が出来なかった。チラシの作成を最低でも3カ月前に終わっておく必要あり。内容確定が途中であっても、広報を行い、集客をする。当日までスタッフとの打ち合わせが少ないので回数を増やして、情報の共有や意識を合わせ、お客様にとっても良いシンポジウムとしていく。



(ズ) 事業内容 協働事業

◆農林水産省より2018年 地域の魅力再発見食育推進事業の助成を受けて食育活動の一貫として2018年9月16日に「あおぞらキッチン 食育ワークショップ」を開催。

今回は、屋外での食育ワークショップ 調理体験、そして「共食」の素晴らしさを改めて知って体験して頂きこれからの食育・食農について考え、これからの実践に向けた機会の場づくりに努めた。

調理においては、フランス料理店 a.ligne (アリーニュ) 高松章浩シェフ (名古屋市中区在住) を調理アドバイザーに招き調理ワークショップ開催。調理助手は、山王一晃氏、堀内俊佑氏、杉浦亜弥子女史。高松氏からは、フレンチシェフの感性を取り入れたプロの調理アドバイスを頂いた。参加者は子どもから、大人・高齢者・障がいのある方まで多世代の方々の参加で、楽しく和気あいあいと開催し終了。

(ゼ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業 (協働事業)	(農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業) 農薬化学肥料除草剤不使用の季節の野菜を使用した屋外での食育ワークショップ「あおぞらキッチン」を開催した。	(A) H30.9.16 10:00~14:00 (B) 豊田市藤岡飯野町田中3番地、4番地 (マザリーアースファーム) (C) 5人	(D) 食育、ナチュラルフード、完全オーガニックに関心がある市民・会員 (E) 申込者数 27人	177,402円

		講師(教養)1人 高松章浩氏 講師(実技)2人 山王一晃氏 堀内俊佑氏 スタッフ 2人 長尾太一氏 酒井麻衣子女史	参加者数 25人 大人 24人 子ども 1人 内会員 10人	
--	--	--	---	--

(2) 総費用 (無償ボランティア5人)

総合計 177,402円

(内訳)

・当期仕入高	35,866円	・雑給	75,936円
・通信費	280円	・賃借料	1,700円
・リース料	44,064円	・消耗品費	5,521円
・保険料	900円	・事務用品費	960円
・運賃	939円	・支払手数料	216円
・広告宣伝費	11,020円		

反省点・改善ポイント

シェフとの企画内容の決定に時間を要し、広報が遅れる原因となった。また、委任出来る範囲の作業を当会にて途中で担当する事となり、担当者への負担・負荷が上がってしまった。



(ゾ) 事業内容

◆平成30年度食料産業・6次産業化交付金の助成を受け、2月10日に開催する「未来へつなぐ食生活と農業に関するシンポジウム2019」のイベントとして開催。山本理事長の挨拶をはじめ、当会の活動紹介、ドキュメンタリー映画「カレーライスを一から作る」の上映会と、木のスプーン作りを行った。「カレーライスを一から作る」を鑑賞したお客様からは、鳥をしめる映像を目にして衝撃的だったとの意見があったが、命を頂く事の有難さを知る機会になったとの声があった。スプーン作りでは大人から子どもまで集中して楽しく行う事が出来た。活動パネルの展示もあり食育、食農、ものづくりの重要性を伝える良い機会となった。

(ダ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	カレーライスを一から作る上映会とスプーン作り	(A) H30.6.3 9:40～14:50 (B) イーブルなごや 大会議室 (C) 8人 理事長 山本百百代 副理事長 村野政章 スタッフ 6人	(D) 愛知県 一般・会員 (E) 申込者数 26人 参加者数 25人 大人 20人 子ども 5人 内会員 16人	41,532円
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	ぐるぐるまちミル NISSHIN 博覧会 上映会「カレーライスを一から作る」	(A) H30.10.27 13:00～16:00 (C) 日進市北部 福祉会館 多目的ホール (C) 2人 理事 坂口朋寛 スタッフ：1人	(D) 愛知県内の食育・食農に関心のある県民 (E) 申込者数 15人 参加者数 15人 内会員 2人	34,032円

(2) 総費用 (無償ボランティア10人)

総合計 75,564円

(内訳)

○カレーライスを一から作る上映会とスプーン作り	41,532円
・仕入高	3,360円
・賃借料(会場)	2,000円
・賃借料(カレーライスを一から作る上映料金)	32,400円
・チラシ郵送代	2,240円
・チラシ原紙代	200円
・保険料	900円
・支払手数料	432円

○ぐるぐるまちミル NISSHIN 博覧会 上映会	34,032円
・賃借料 (カレーライスを一から作る上映料金)	32,400円
・保険料	1,200円
・支払手数料	432円

反省点・改善ポイント

チラシや企画内容の決定が遅れ、集客期間が短く動員が少なかった。会場も広い会場となり 全体的に空いたスペースが目立つ事となった。6月3日は、ものづくりにもピックアップしたので、今までとは一味違った内容となった。名古屋市教育委員会へチラシ配布を依頼したことで現役の教員の方 1 名の参加があった。集客は最低 3 カ月前に告知レベルでも実施していく。



⑨管理事業

(1) 事務局

当期仕入高	227,545円
*ブルゾン・ポロシャツ	

(2) 事務局管理費

1 総費用

総合計 2,997,089円

(内訳)

法定福利費 (管理)	625,204円
旅費交通費 (管理)	2,240円
通信運搬費 (管理)	291,458円
会議費 (管理)	2,388円
賃借料 (管理)	17,000円
地代家賃 (管理)	840,000円
修繕費 (管理)	45,000円
水道光熱費 (管理)	276,707円
消耗品費 (管理)	153,933円
租税公課 (管理)	86,368円
運賃 (管理)	6,077円

事務用品費（管理）	7, 1 2 6 円
広告宣伝費（管理）	5 7, 8 2 4 円
支払手数料（管理）	5 5 2, 1 6 4 円
諸 会 費（管理）	3 3, 6 0 0 円

(2) その他の事業

本年は、その他の事業は実施しなかった。

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

ア 通常総会

(ア) 開催日時及び場所

平成30年3月11日 13:00～14:30

ウィルあいち セミナールーム2

(イ) 議題

- ① 第一号議案 平成29年度 事業報告、収支決算報告について
- ② 第二号議案 平成29年度 監査報告について
- ③ 第三号議案 平成29年度 寄附金活用報告について
- ④ 第四号議案 平成30年度 事業計画（案）、活動予算（案）について
- ⑤ 第五号議案 平成30年度 運営組織・人事（案）について
- ⑥ 第六号議案 その他

(2) 理事会

ア 第1回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成30年2月11日 17:25～19:40

当法人農業専従者寮兼研修施設

(イ) 議題

- ①第10回通常総会議案について
- ②第10回通常総会プログラムについて
- ③その他について

イ 第2回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成30年2月18日 19:15～23:30

鶴舞事務所

(イ) 議題

- ①平成30年度予算最終審議
- ②平成30年度組織運営について
- ③その他について

ウ 第3回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成30年12月23日 13:20～19:10

当法人農業専従者寮兼研修施設

(イ) 議題

- ①平成31年度事業方針
- ②平成31年度年間スケジュール
- ③平成31年度各事業部門予算
- ④平成31年度組織、理事選任に
- ⑤農事専従者雇用について
- ⑥その他について